



われわれはみな、  
グレート・スピリットの庭に 咲く花なのであると、  
わたしは教えられた。

われわれは同じ根っこをわけあっていると。

その根とは、 母なる大地のことなのだ。  
その庭が美しいのは、さまざまな色があるからだ。

オー・シンナ (アメリカ先住民)



どうかわたしを、美のなかに歩ませ、  
なにとぞこの眼に、赤と紫の夕陽をお見せください。

(Photo by (c)Tomo.Yun

<http://www.yunphoto.net>

この両手が、  
あなたの創られたものを、尊敬させるようにしてください。

この耳を、  
あなたの声が聞こえるように、鋭くしてください。

トム・ホワイトクラウド



(Photo by (c)Tomo.Yun

<http://www.yunphoto.net>

大地が横たわっている。

大地の魂が横たわっている。

その上はすべての生き物で装われている。

聖なる言葉が横たわっている。

ナバホインディアン



(Photo by (c)Tomo.Yun

<http://www.yunphoto.net>

鳥が歌い、そして人々も歌い、

やがて命の歌がひとつになる

ロングヘヤー・カチナ (ホピ族)



(Photo by (c)Tomo.Yun  
<http://www.yunphoto.net>

わたしの体に 血がめぐるように  
木々のなかを 樹液が流れている。  
わたしは この大地の一部で  
大地は わたし自身なのだ。

シアトル首長



大地は わたしたちに属しているのではない。  
わたしたちが 大地に属しているのだ。

シアトル首長



見上げる 夏の日の 大空にわたしの 姿を さがしもとめ  
道に響く わたしの 足音にあなたの 耳を こらしなさい。  
石を 持ちあげて みれば

そこに わたしは いる。

HO!

シャイアン・インディアン



(Photo by (c)Tomo.Yun  
<http://www.yunphoto.net>

あらゆるものが つながっている。  
わたしたちがこの命の織り物を織ったのではない。  
わたしたちは そのなかの一本の糸にすぎないのだ。

シアトル首長



(Photo by (c)Tomo.Yun  
<http://www.yunphoto.net>

気がついたんだ  
おれたちに同じ時間が  
流れていることに

星野道夫『クマよ』より



(Photo by (c)Tomo.Yun  
<http://www.yunphoto.net>

子供は親を鏡に育つよね。  
人間は、地球を鏡にして生きなくっちゃあ。

坪田愛華



今日も「おはつ」

お日さま おはよう  
新しい朝を ありがとう  
今日という日の あちこちに  
いろんな「おはつ」が まっている

そうなんだ  
世界は まいにち生まれただて  
世界は まいにち「おはつ」！

(Photo by (c)Tomo.Yun  
<http://www.yunphoto.net>

くどうなおこ



(Photo by (c)Tomo.Yun  
<http://www.yunphoto.net>

落ちていく枯葉だって美しい。肥料にもなるし....。  
木はそのことを知っているのよ。

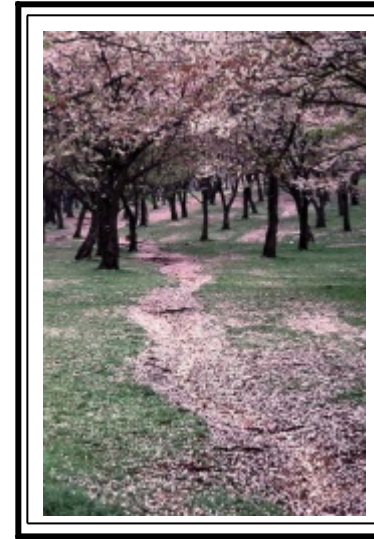
坪田愛華



(Photo by (c)Tomo.Yun  
<http://www.yunphoto.net>

空を見ていると、  
自分がとても小さく見えるって言うけど、私は逆。  
自分が空一杯にどんどん広がっていくの。

坪田愛華



みんな  
おまえが来たのを知っている  
森も、森を吹き抜ける風も  
父なる山が、子どもたちに  
歓迎の歌を歌わせているのさ

『リトル・トリー』より



地球上の  
生命  
大気  
水

すべてのいのちの一つ。  
食物連鎖の中で  
何も余分なものは無い。

生き物すべてが支えあってこそ  
地球の環境は守られる

(Photo by (c)Tomo.Yun  
<http://www.yunphoto.net>

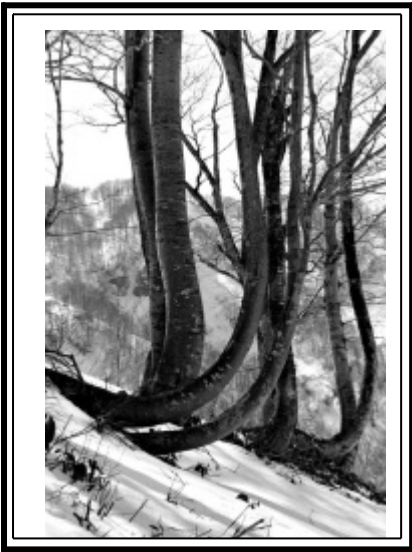
坪田愛華



(Photo by (c)Tomo.Yun  
<http://www.yunphoto.net>

理解というものは愛と同じものなの。  
でもね、かんちがいする人がよくいるんだ。  
理解していないくせに愛してるふりをする。  
それじゃなんにもならない。

『リトル・トリー』より



(Photo by (c)Tomo.Yun  
<http://www.yunphoto.net>

きつい冬も時々は必要だ、  
それがなにかをかたづけ、  
なにかをすこやかに育てる  
自然のやり方なのだ。  
例えば、  
氷は木の枝のうちの弱いもの  
を選んで折ってしまう。  
もっと強い枝を出させるためだ。

『リトル・トリー』より



(Photo by (c)Tomo.Yun  
<http://www.yunphoto.net>

なにかいいものを見つけたとき、  
まずしなくちゃならないのはね、  
それをだれでもいいから、  
出会った人に分けてあげて、  
いっしょに喜ぶことなの。  
そうすれば、  
いいものはどこまでも広がってゆく

『リトル・トリー』より



(Photo by (c)Tomo.Yun  
<http://www.yunphoto.net>

ぼくは道端に腰をおろし、  
靴と靴下を脱ぎ捨てた。・・・・。  
素足の裏に土のかすかなぬくもりが伝わり、  
すねから膝へ、膝からももへと、ゆっくり重い登ってくる。

『リトル・トリー』より



(Photo by (c)Tomo.Yun  
<http://www.yunphoto.net>

山の頂に目を向けて  
朝の誕生を見てごらん  
木々の間から聞こえる風の歌に耳を澄まし  
母なる大地から湧き出す生命を感じてごらん

『リトル・トリー』より